

社会福祉法人はるにれの里が管理・運営しております事業所の一部から、新型コロナウイルス感染者が確認されたため、次の通り経過報告させていただきます。

【札幌市自閉症者自立支援センターについて】

令和3年4月15日(木)の夜、札幌市自閉症者自立支援センターゆいの通所サービス(以下、ゆい)を利用されている、在宅生活の方が新型コロナウイルスに感染したとご家族から連絡がありました。

その後、札幌市保健所(以下、保健所)の指示のもと、ゆいの通所担当職員14名、グループホームからの通所利用者2名(夫々違うGHに入居)を特定し、PCR検査を実施したところ、4月18日の午後、グループホームAから通所している方1名から、新型コロナウイルス感染(陽性)が確認され、保健所の指示を受け直ちにグループホームAにおける隔離対応をいたしました。

ゆいの通所サービスについては4月16日(金)から閉鎖しており、4月20日に保健所からゆいへの影響は無いとの連絡を受け、4月21日から平常のサービスを実施しています。

引き続き感染症対策には万全を期し再発防止に努めてまいります。

【グループホームAについて】

4月18日に感染が確認されたグループホームAの入居者には4月19日、隔離環境を万全にできる建物に移動していただきました。また、保健所の指示によりグループホームAに関係する職員10名、入居者3名のPCR検査を実施しました。

その結果4月21日、新たに職員1名、入居者1名の新型コロナウイルス感染(陽性)が確認され、入居者については保健所の指示を受け直ちに隔離対応、職員は自宅待機(その後保健所から直接指示がある)となりました。なお、感染した二人目の入居者もグループホームAを離れ一人目の方と同様の建物に移動していただきました。

現在のところ感染した入居者2名については、逐次保健所と連絡を取りながら、服薬、バイタルチェックを行うなど容体を注視しケアにあたっています。

また、陰性であっても保健所から健康観察を指示されたグループホームAの入居者1名については、適切な環境のもと健康管理を続けております。

【東米里菌床センターについて】

新型コロナウイルスに感染したゆいの通所サービス利用者(在宅生活)は、東米里菌床センターでお仕事をされておりました。そのことから、4月16日～17日にかけて、法人独自で関係者15名のPCR検査を実施し、並行して保健所からの指示を受けながら感染予防対策を行いました。15名の検査結果は全員陰性で、菌床センターは4月19日から作業を再開しております。なお、陰性であっても保健所から健康観察を指示された4名のご利用者の方は、夫々自宅及びグループホームでの待機となり、適切な環境のもと健康管理を続けております。

以上の経緯から、法人関係者で感染者した方は4名ですが、個人のプライバシーに配慮しつつ報告させていただくこと、今後も保健所の指導のもと感染された方の適切なケアと感染拡大防止に努めてまいりますことをご理解いただきますようよろしくお願いいたします。